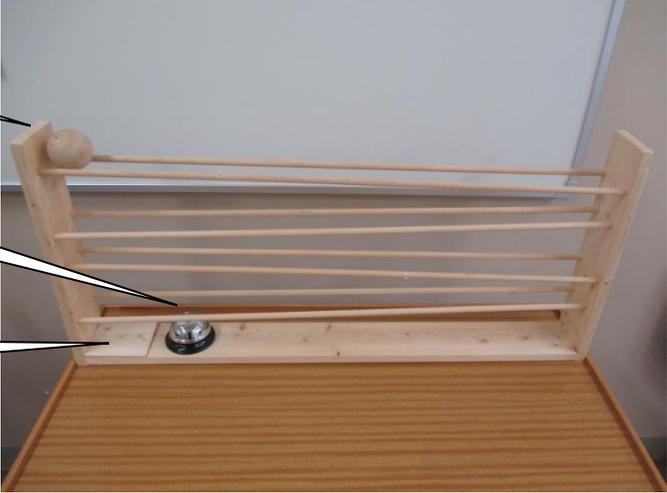


<p>主に関係する 領域・教科</p>	<p>自立活動</p>	<p>氏名：野村達郎</p>
<p>教材・教具名</p>	<p>コロコロ・チン</p>	
<p>ねらい</p>	<p>木球をつかみ、指示された位置に置き、その動きを目で追う。</p>	
<p>教材教具の説明</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>木球を最上段に置く</p> <p>卓上ベルに触れると「チン」と鳴る</p> <p>木球が手前に転がって来る</p> </div>  </div>		
<p>制作のポイント</p>		<p>使用材料・部品</p>
<ul style="list-style-type: none"> 対象生徒の机の幅にはまるようにした。 丸棒を広げて組み立て、両端部で木球が緩やかに落下する。 最後に卓上ベルが鳴る。 		<ul style="list-style-type: none"> 1×4材 10mm丸棒 木製の球 卓上ベル

<p>実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動 5 身体の動きに関する教材として作成した。 右腕の麻痺が強いが、机上の様々な位置に木球を置き、つかむようになっている。 最後に「チン」となった後に転がってくるので、落とさないように声をかける。
<p>効果・改善点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動くものに興味があり、繰り返し取り組むことができる。 最後に「チン」と鳴ることも楽しいようであった。 木球は百均の商品で、数mmの誤差で真球ではなかったため、置き方によっては落下しないことがある。